

10月号
2026年

関空島

WEATHER REPORT

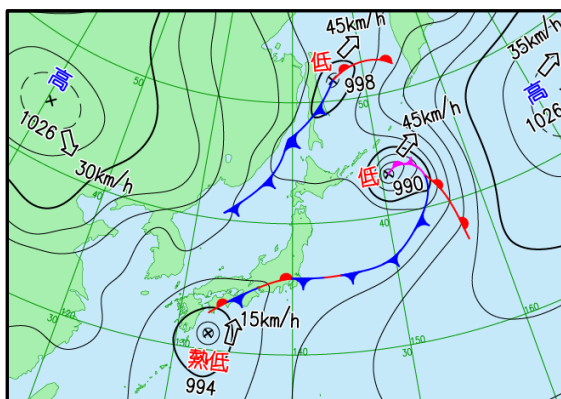
ご利用の前に
この内容には、航空気象で利用する用語や、観測で使用する機器等の略語がでてきます。これらの解説を巻末に掲載していますので適宜ご利用ください。

関空島の9月のトピックス

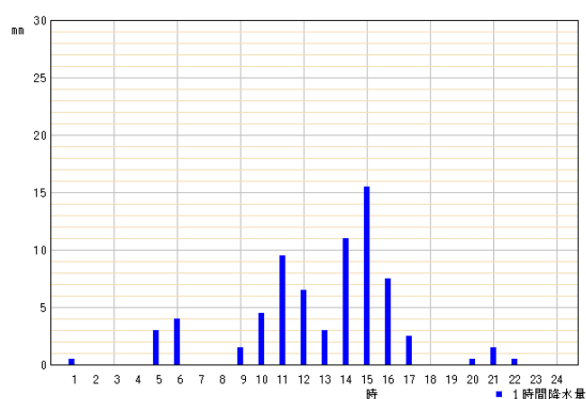
8日の大雨

台風第24号から変わった熱帯低気圧が四国の南海上を北上し、南から暖かく湿った空気が流れ込み、関東から四国付近に延びる秋雨前線の活動が活発となった。関西国際空港では、8日明け方から雨が降り始め、昼前から夕方にかけて強い対流雲が流入して雨の降り方が強まり、断続的に視程やシーリングが低下した。日降水量は71.5mm（2003年の統計開始以来、9月の6位を更新）の大雨となった。

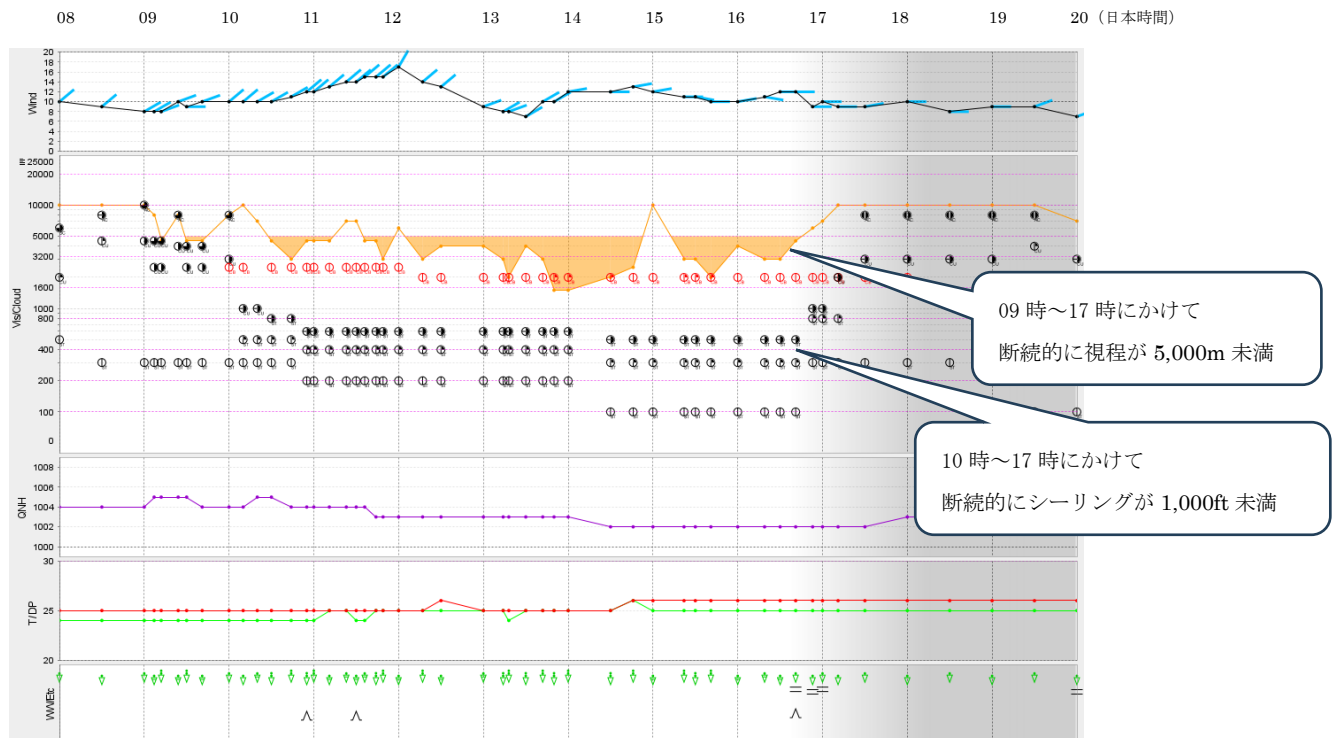
また、秋雨前線が本州付近に長期間停滞した影響で、月降水量は225.0mm（2003年の統計開始以来、9月の4位を更新）と平年より多くなった。



第1図 速報天気図（8日15時）



第2図 関西国際空港の1時間降水量経過図
（8日01～24時）



第 3 図 関西国際空港の気象観測データ（8 日 08 時～20 時）

関空島の9月の極値・順位値の更新

9 月の極値と順位値の更新状況は以下の URL のページを参照ください。

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/rank_a.php?prec_no=62&block_no=1471&year=2026&month=09&day=&view=

関空島の9月の観測結果

気象庁ホームページでは、関西国際空港（アメダス・関空島）の観測データをご確認頂くことができます。以下の URL のページをご覧ください。

気象庁ホームページ：関空島（大阪府） 2026 年 9 月

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/daily_a1.php?prec_no=62&block_no=1471&year=2026&month=9&day=&view=

関空島 WEATHER REPORT で使用する航空気象に関する用語の解説

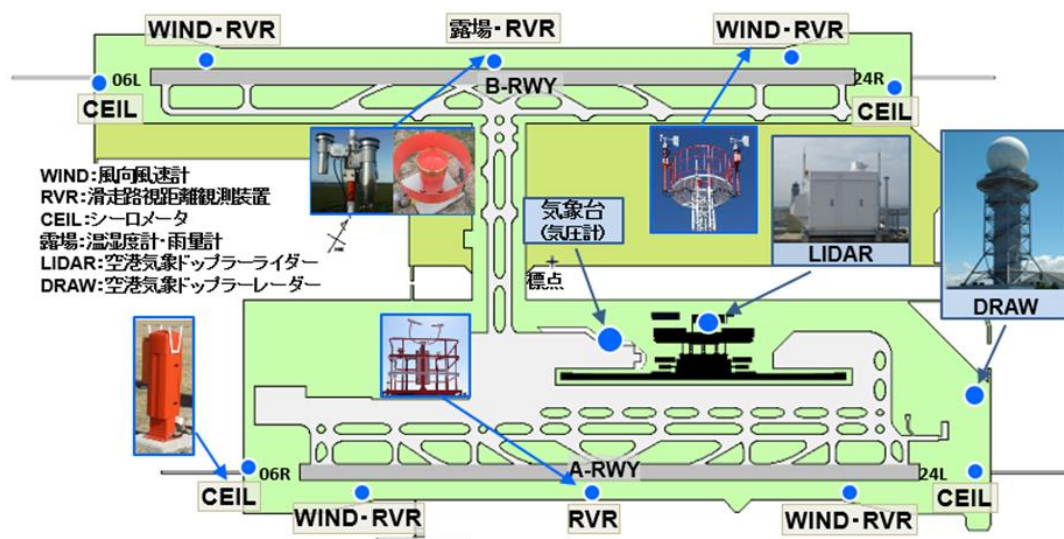
気象観測施設の配置とデータ利用について

気象観測施設は、関空島の A-RWY(3500m)と B-RWY(4000m) 周辺に配置した屋外観測装置と、当台気象観測室(航空庁舎ペントハウス)に設置した気象観測報の作成、配信等の処理を行う屋内観測装置で構成する。

屋外観測装置からのデータは屋内観測装置に表示し、METAR-AUTO 報として 10 分毎に自動配信するとともに、屋上で行う目視による観測とあわせて航空観測気象報(METAR 報、SPECI 報)で配信する。

また、日本時間の 23 時 00 分～翌日 05 時 59 分の間は、全要素とも自動観測・自動判別結果を用いた METAR/SPECI 報(以下「自動 METAR/SPECI 報」という。)を通報する。自動 METAR/SPECI 報で通報する視程や雲、現在天気は目視観測とは異なる特性・特徴を持っている。

航空観測気象報で通報する風は「06L」の観測値である。障害等で「06L」が使用できない時は「06R、24R、24L」の順に代用して通報し、RMK に使用した風向風速計名を記載する(例: WIND BY EQPT/06R)。



関空島内の気象観測機器配置状況